

福岡県同和問題啓発強調月間の取り組み

(1) 街頭啓発・のぼり旗・看板の設置

本年度は7月1日に町内5ヶ所で街頭啓発を行いました。市民講座「人権講演会」の案内チラシやリーフレット・うちわなど配布しました。また、図書館周辺にのぼり旗や、町内5ヶ所に看板を設置しました。これらの事業は7月の福岡県同和問題啓発強調月間に併せて行っています。



はいふぶつ
配布物



ちょう
町マイクロバス



かんばん はじ まえ
看板(土師ファミリーマート前)



トライアル前
まえ



桂川東小学校付近
きんがわひがししょうがうちひら

(2) 人権啓発パネル展 (同和問題 人権に関する三つの法律)



やくば
役場 (7/1 ~ 4)



じゅうみん
住民センター (7/6)



としょかん
図書館 (7/8 ~ 13)

パネル展の感想

アンケートより

- ① いろいろ展示してあり勉強になりました。字が小さいパネルが多く、もっと図や絵を使ってわかりやすく表示してくれたらありがたいです。
- ② ヘイトスピーチ解消法など、知らないことが展示してあり勉強になりました。SNS上の問題や対応についてこれから私たちも考えていかなければと思います。
- ③ 図書館に来る子どもたちにもわかるような展示もあっていいと思う。

(3) 桂川町市民講座「人権講演会」

外国人問題 ～アンちゃんと学ぼう！多文化共生～ 講師 アン・クレシーニさん

7月6日住民センターにおいて市民講座「人権講演会」を開催しました。今年度は、北九州市立大学准教授のアン・クレシーニさんに「アンちゃんと学ぼう！多文化共生」という演題で講演をしていただきました。参加者249名で昨年より41名増となりました。年代別にみると、10～40代までの参加者は昨年と同程度でしたが、50代以上の参加者は増えました。テレビや新聞などへ多数出演されて、知名度も高く町外からの問い合わせも多く、特に女性層からの関心の高さが伺えました。

参加者の満足度は高く、アンケートに回答をいただいた方の92.8%が『良かった』と回答しており、多くの参加者にアンコンシャスバイヤス（無意識の偏見）や多文化共生について考える場を提供できたと思います。



「人権講演会」アンケート結果

参加者数 249名 / アンケート提出者 210名



